

熊野警察署協議会議事録

令和4年度第2回熊野警察署協議会	
日 時 場 所	令和4年10月14日（金）午前10時～午前11時30分 熊野警察署3階会議室
出席者	1 警察署協議会委員 5名 市村治委員、内海里江委員、大久保玲子委員、 下和田貞明委員、前川直毅委員 2 警察署 6名 署長、副署長、生活安全刑事課長、会計係長、警務係長、 警備係長
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<ol style="list-style-type: none"> 1 特殊詐欺被害防止広報啓発活動 2 公安委員会委員挨拶 3 管内概況等の説明 4 熊野警察署のコロナウイルス感染症に対する施策 5 特殊詐欺被害の現状説明 6 協議内容 <p>特殊詐欺防止策について</p> <p><委員> スマートフォンに届いた詐欺メールから警察本部で犯人を突き止めて検挙することはできないのか。</p> <p>【生活安全刑事課長】 検挙事例はあるが、海外のサーバーを経由したり、他人名義等の携帯電話機を使用しているため、メールアドレスからの捜査で首魁までを検挙することが難しい場合がある。</p> <p><委員> 架かってくる電話は詐欺の犯人かもしれないと疑ったり、相手の電話番号を聞いた上で理由を付けて電話を切断するというのはどうか。</p> <p>【生活安全刑事課長】 非常に有効な対策である。 例え警察と名乗ったとしても疑うことが大切である。 併せて1人で考え込まずに家族等に相談することも重要である。</p> <p><委員> 固定電話の横に注意喚起のチラシなどを貼ったり、あえて疑っていることを伝えて、録音する旨伝えてはどうか。 また、日頃から家族とのコミュニケーションをとることも有効ではないか。</p> <p>【生活安全刑事課長】 とても有効な意見である。 警察からも詐欺被害防止のために、録音装置の貸し出しもしている。 日頃から家族とコミュニケーションをとり、どんなことでも相談することが最も有効な対策の一つである。</p> <p><委員> 定期的に詐欺被害防止の放送を流してはどうか。</p>	

【生活安全刑事課長】 月に一度くらいのペースで実施できるよう熊野市と調整中である。

<委員> 特殊詐欺被害防止の広報活動を実施しているのに、なぜ被害が発生するのか。また、犯人からはどのようなコンタクトをとってくるのか。

【生活安全刑事課長】 特殊詐欺を知らない人はいないと思うが、突然、電話が架かってきて気が動転して被害に遭うことが多いのが現状である。犯人からのコンタクトは、電話やメールがほとんどである。

<委員> 事例を示しながら、啓発活動を続けるしかないのではないか。また、金融機関やコンビニに注意深く対応してもらえないのではないか。

【生活安全刑事課長】 被害を受けやすい高齢者が利用する施設などに対して広報啓発活動を進めている。

金融機関やコンビニでは実際に声掛けをしてもらい、被害の未然防止に至った例もある。

7 公安委員会委員講評

備 考	報道機関 2 社 2 名
-----	--------------